



目次

1	インストールの前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	1 必要システム要件の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	2 データベース環境の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	1 データベースについて ・・・・・・・・・・・・・	3
	2 既に SQL Server がインストールされている場合 ・・・	3
	3 セットアップの流れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	4 その他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2	レッツ原価管理Go!のセットアップ ・・・・・・・・	4
	1 インストール前の確認事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	2 レッツ原価管理Go!のインストール ・・・・・・・・・・・	5
	3 レッツ原価管理Go!の起動とサーバー選択・・・・・・・・・	10
	4 バックアップ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
3	補足 ••••••	12
	1 プログラムの再インストール ・・・・・・・・・・・・・・・・	12
	2 使用コンピュータの変更 ・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
	3 アンインストール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
	4.NET Framework3.5のインストール ・・・・・・・・・・・・・・	19
	5 トラブルシューティング ・・・・・・・・・・・・・・・	21

● 本書では、レッツ原価管理Go!のインストール方法についてのみ解説しております。機能および 基本的な操作方法につきましては、「レッツ原価管理Go!操作マニュアル」でご確認ください。

● 本書の内容に関しては、訂正・改善のため、予告なしに変更することがあります。

● Windows は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

1インストールの前に

レッツ原価管理Go!をインストールする前に、次の確認を行ってください。

- 1 必要システム要件の確認
 - コンピュータ・必須ソフトウェア
- 2 データベース環境の確認 使用するSQL Serverのエディション

1 必要システム要件の確認

	使用するコンピュータ
CPU	Pentium4 以上または同等の互換プロセッサを搭載したコンピュータ(推奨:3GHz以上)
日本語0S	Windows 11 / Windows 10 / Windows 8.1
メモリ	Windows 11 :1GB 以上(推奨:1.5GB以上) Windows 10 :1GB 以上(推奨:1.5GB以上) Windows 8.1 :1GB 以上(推奨:1.5GB以上)
モニター	本体に接続可能で上記OSに対応したモニター 解像度1024×768 以上 High Color(16ビット)以上推奨
HDD	インストール時、最大約1.4GB 別途データ領域必要
プリンタ	上記OSに対応した、A4用紙が使用可能なプリンタ。 プリンタドライバ上またはOS上の設定で余白の範囲を11mm以下まで指定できるプリンタ。 ※プリンタドライバについては、上記OSに対応したメーカーから提供されているドライバをご使用ください。
周辺機器	上記OSに対応した、マウス・キーボード インストール時、CD-ROM ドライブが必要
必要な ソフト ウェア	 Microsoft Internet Explorer 6.0 Service Pack 1 以降 ※上記ソフトウェアがインストールされていない場合、本製品を正常にセットアップできません。 Microsoft Windows Installer 4.5 以降 Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 以降 Microsoft Excel 2000以降 ※本製品のExcelクリエート機能をご使用になる場合に必要です。別途インストールして下さい。 Microsoft Outlook 2000以降、又はMicrosoft Outlook Express 5以降 ※本製品の承認依頼機能をご使用になる場合に必要です。通常使用する電子メールのプログラムとして設定されている必要があります。 ※Webメールでは利用できません。また、すべての電子メールソフトには対応しておりません。
データ ベース	Microsoft SQL Server 2008 R2 以降 ※本製品は、SQL Server 2017 Express Edition を同梱していますが、上位エディションをご使用いただくことも可能です。 上位エディションをご使用いただく場合は別途ご用意して下さい。その場合SQLServerのライセンスが別途必要です。 ※SQL Server 2017 Express Editionでは1データベース領域(会社ファイル)として最大10GBまで使用可能です。 ※SQL Server 6.5/SQL Server 7.0及び、これらのSQLServer互換のMSDEがインストールされている環境にはインストールできません。 ※SQL Server 2005 SP3以降もご利用可能です。
ご注意	 ※快適にご利用いただくために、より高スペックのCPUを搭載したコンピュータ、並びにより多くのメモリ搭載をおすすめします。 ※処理中に、Windowsがスタンパイモード・休止モード・スリープモードに移行すると、エラーが発生する場合があります。 Windowsがスタンパイモード・休止モード・スリープモードに移行する前に、レッツ原価管理Go!を終了してください。 ※Microsoft社のサポート保証期間が終了しているOSについては正常に動作しない可能性がありますので、保証期間の終了していない OSでの運用をおすすめします。 ※Microsoft SQL Server および弊社アプリケーション使用領域(バックアップ含む)は、圧縮フォルダでの運用をサポートしておりません。

2 データベース環境の確認

1 データベースについて

レッツ原価管理Go!のデータはSQL Server 2017を使用します。 会社データは指定したインスタンス名の領域に作成されます(既定『LETS』)。 本製品のCD-ROMには、SQL Server 2017 Express Editionが同梱されています。

※SQL Server 2017 Express Editionでは、データ領域は1会社ファイルにつき最大10GBまでです。

2 既にSQL Serverがインストールされている場合

既にSQLServerがインストールされているコンピュータにレッツ原価管理Go!のCD-ROMより データベースをインストールしようとすると次のようになります。

インストール済の環境	動作	
SQL Server 2017	SQL Server 2017 Expressのインスタンス作成が行われます。	
SQL Server 2019		
SQL Server 2014		
SQL Server 2012 R2		
SQL Server 2012	SQL Server 2017 Expressのインストールと	
SQL Server 2008 R2	_SQL Server 2017 Expressのインストールと インスタンス作成が行われます。	
SQL Server 2008		
SQL Server 2005		
SQL Server 2000(MSDE 2000)		
SQL Server 7.0(MSDE 1.0)	動作保障致しかねます。	
SQL Server 6.5	別のコンピュータにインストールしてください。	

3 セットアップの流れ



インストール途中、何度かコンピュータの再起動が求められることがあります。

4 その他

その他のアプリケーションの停止

インストールするコンピュータで他のアプリケーションが起動していないことを確認 してください。(ディスクメンテナンス、常駐セキュリティソフトも含む) ※セキュリティソフトの機能によりインストールが正常に行われない可能性があります。

2 レッツ原価管理Go!のセットアップ

レッツ原価管理Go!のセットアップを行います。



1インストール前の確認事項

1 ハードディスクの空き容量

レッツ原価管理Go!本体 : 400MB以上 SQL Server 2017 : 1GB以上 別途、データ領域として同一コンピュータ上に10GB以上の空き領域が必要です。

2 インストールするユーザーの権限

管理者権限を持っているユーザーでインストールして下さい。

3 データベースのインストール先

インストール先のドライブ又はフォルダが、読み取り専用や暗号化、圧縮されてない ことを確認して下さい。

【確認】

既にご購入済みのSQL Serverの上位エディションをご利用いただくことが可能です。 (マニュアル: <CD-ROM>¥Documents¥SQL Server設定マニュアル¥SQLSetting.pdf)

その場合、先に上記マニュアルに従い SQL Serverのインストールを行ってください。 その後、当マニュアルのP.6 SQL Server のインスタンス名指定画面で、 別紙SQL Server設定マニュアルP.3の6で設定したインスタンス名を指定してください。

【確認】

Windows8.1以降のOSを使用している方は .NET FrameWork3.5のインストールが必要です。

.NET FrameWork3.5がインストールされていない場合には、レッツ原価管理Go!を インストールしている途中でエラーになります。

. NET FrameWork3.5インストール方法 (⇒ P.19~「4.NET FrameWork3.5のインストール」参照)

2 レッツ原価管理Go! のインストール

- 1 レッツ原価管理Go!のCD-ROMをコンピュータにセットします。
 - インストール画面が表示されます。
 - P.21 補足 5-1. トラブルシューティング インストーラーが自動的に起動しない
 - ☞ Windows8.1以降のOSを使用している方はインストールを行う前に
 - P.19 補足 4.NET Framework3.5のインストール をご参照ください
- 2「インストール」ボタンをクリックします。



3 レッツ原価管理Go!の使用許諾規約画面が表示されます。 使用許諾規約内容を読み、同意いただける場合は「同意します」をクリックします。

🥙 使用許諾	Х
レッツ原価管理Golソフトウェア使用許諾規約	
 第1条(定義) 本規約において使用する用語の意義は、次の各号に定めるとおりとします。 (1)「本規約」とは、「レッツ原価管理応(ソフトウェア使用評搭規約」をいいます。 (2)「その他の規程」とは、当社サイト上で当社が定める、本規約以外の本ソフトウェアに関す 	^
るその他の規程をいいます。 〈3〉「本契約」とは、本ソフトウェアの使用に関する当社とユーザーとの間のソフトウェアラ	
・センス契約をいいます。 〈4〉「当社」とは、株式会社レッツをいいます。 〈5〉「ユーザー」とは、当社との間で本契約を結び、本ソフトウェアをエンドユーザーとして 律	
用する者をいいます。 〈 6 〉「本ソフトウェア」とは、当社が販売する「レッツ原価管理Col」という名称のソフトウェ ア及びそれに関するマニュアル等のドキュメント類をいいます。 〈 7 〉「インストレーションキー」とは、本ソフトウェアをインストールするために必要となる	
□ こをいいます。 (8)「本サーバー等」とは、ユーザーが本ソフトウェアをインストールする先の、ユーザー管 ■	
「伝係るサーバー(クラウドサーバーを含みます。)又はPOをいいます。 (9)「当社サイト」とは、本ソフトウェアの情報等を掲載した当社が運営するウェブサイトを	
↓ します。 (10)「ユーザー登録」とは、当社所定の方法によりユーザーとして登録することをいいます。	~
同意しますの意しません	

- 4 インストール開始前の注意メッセージが表示されます。
 - セキュリティソフトの無効化、Windows Updateの確認を行い「次へ」をクリックします。



5 インストールされるコンポーネントのリストが表示されます。

内容を確認して「次へ」をクリックします。

◇ 8.1以降のOSを使用している方で、.NET Framework3.5のインストールが お済みでない方は P.19 補足 4.NET Framework3.5のインストール をご参照ください

レッツ原価管理Go! インストールコンポーネント		
下記のコンポーネントをインストールします		
SQL Server レッツ原価管理Go!	所要時間約10分 所要時間約3分	
所要時間は環境によって変わります	次へ キャンセル	
レックボー 回当主ない: 所要時間は環境によって変わります	/// 表中引 () 3 /2 次へ キャンセル	

6 SQL Serverのインスタンス名設定画面が開きます。 (インストール済の場合は自動的に8. に進みます)

レッツ原価管理Go!SQL Server インストール	
インスタンス名指定 インスタンス名 「既定のインスタンス名を何 LETS ※通常は既定のインスタンス	使用する 名『LETS』を指定してください
インスタンス名を指定してください	次へ キャンセル

・レッツ原価管理Go!で使用するインスタンス名を変更したい場合
 「既定のインスタンス名を使用する」のチェックをOFFにすると、インスタンス名の入力が
 可能になります。任意のインスタンス名を入力してください。
 ※通常はインスタンス名に既定の『LETS』を使用することをお勧め致します。

上記内容を確認後「次へ」ボタンをクリックしてください。

7 SQL Serverのデータ保存先指定画面が開きます。

レッツ原価管理Go!SQL Server インストール	
インストール先フォルダ指定 データ保存先フォルダ	
C:¥Program Files (x86)¥Microsoft SQL Server	
SQL Server データフォルダを指定してください	インストール キャンセル

・データの保存先フォルダを変更したい場合

インストール先フォルダ指定の[…]ボタンをクリックし、データ保存先のフォルダを指定 してください。

上記内容を設定、確認後「インストール」ボタンをクリックしてください。

※「インストール」ボタンのクリック後、以下の画面が開く場合があります。 その場合は内容を変更せず「OK」ボタンをクリックしてください。

展開されたファイルのディレクトリの選択	Х
展開されたファイルのディレウトリの選択 hinistrator¥Desktop¥Go!LAN¥Common¥SQLEXPR_JPI	N¥
OK キャンセル 参照…	

※ SQL Server 2017のインストールが終了すると再起動が必要になります。 再起動を求められた場合、他に起動しているソフトウェアが無いことを確認後、再起動を 行ってください。PC再起動後にインストーラーを起動し、インストーラーの「インストー ル」ボタンをクリックしインストールを進めてください。

- P.21 補足 5-1. トラブルシューティング インストーラーが自動的に起動しない
- 8インストレーションキーの入力を行います。

レッツ原価管理Go! インストレーションキー認証
レッツ原価管理Go!のインストレーションキー認証を行います。 CD-ROMのケースに記載されているインストレーションキーを入力して下さい。
インストレーションキー 99999 - 99999
次へ キャンセル

CD-ROMケースに入っている正規のインストレーションキーを入力し「次へ」をクリックします。

9 インストレーションキーが認証されるとレッツ原価管理Go!本体のインストールウィザード 画面が開きます。

「次へ」で進めます。

🛃 レッツ原価管理Go! - InstallShi	eld Wizard	\times
2	レッツ原価管理GolのInstallShield ウィザードへようこそ	
	InstallShield(R) ウィザードは、ご使用のコンピュータへ レッツ原 価管理Go! をインストールします。「次へ」をクリックして、続行し ください。	τ .c
2	警告: このブログラムは、著作権法および国際協定によって(料 されています。	謢
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

10 インストール先指定画面が表示されます。変更する場合は「変更」ボタンをクリックし、 インストール先を指定します。

「次へ」をクリックします。

🛃 レッツ原信	m管理Go! - InstallShield Wizard X
インストール このフォル ンストーノ	い先のフォルダ レダにインストールする場合は、「次へ」をクリックしてください。別のフォルダにイ しする場合は、「変更」をクリックします。
Þ	レッツ原価管理Go! のインストール先: C:¥Program Files (x86)¥Lets¥LetsGo¥ 変更(C)
InstallShield -	
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- 11 インストールの準備完了画面が表示されます。
 - 「インストール」ボタンをクリックするとインストール処理が開始されます。

場 レッツ原価管理Go! - InstallShield Wizard >	<
プログラムをインストールする準備ができました	
ウィザードは、インストールを開始する準備ができました。	
「インストール」をクリックして、インストールを開始してください。	
インストールの設定を参照したり変更する場合は、「戻る」をクリックしてください。「キャンセル」をク リックすると、ウィザードを終了します。	
InstallShield	
< 戻る(B) インストール(I) キャンセル	

12 インストールが終了すると完了画面が表示されます。 「完了」ボタンでクライアントのインストールを終了します。

よ ア ア ア の で で で で で の い の の い の の い の の い の の い の い	eld Wizard	×
2	InstallShield ウィザードを完了しました	1
	InstallShield ウィザードは、レッツ原価管理Go! を正常にインスト ールしました。「完了」をクリックして、ウィザードを終了してください。	
Contract of	【確認】 インストール開始時にセキュリティソフトを無効にしていた場合は有 効化してください。	
\geq		l
		J
	< 戻る(B) 完了(F) キャンセル	

インストール作業は以上で完了です

3 レッツ原価管理Go!の起動とサーバーの選択

レッツ原価管理Go!のデータを保存するSQL Serverを選択します。 自分のコンピューター名をサーバーに選択します。

- 1 レッツ原価管理Go!を起動します。
- 2 サーバー選択画面が表示されます。 ※一度レッツ原価管理Go!をインストールした ことがあるコンピュータの場合表示されない 場合があります。



SQL Server選択	×
サーバー選択	
I 💌	
OK	
ОК	

3 ドロップダウンリストにサーバー名が表示されます。 お使いのコンピュータ名を選択してください。 ※サーバー名は『<COMPUTERNAME>¥<インスタンス名>』

で表示されます。 例)LETS-PC¥LETS

SQL Server選択	×
サーバー選択	_
LETS-PC¥LETS	
ОК	
<u> </u>	

※ この部分に表示されない場合、直接サーバー名や IPアドレスを入力して指定することも可能です。 例) 192. 168. 100. 10¥LETS

直接入力してもサーバーを選択できない場合、お手数ですが弊社までご連絡ください。

4 [OK]ボタンをクリックします。



5 レッツ原価管理Go!のメインメニューが表示されます。

インストール作業はこれで完了です。



データのバックアップを必ずお取りください!

パソコンのトラブルで万がーデータが壊れてしまった場合、バックアップデータが ないと入力したデータはすべて失われてしまいます。そうなってしまったら、一か ら入力し直すしかありません。 あとで泣くことにならないように、必ずデータのバックアップを行ってください。

※他社製バックアップソフトの復帰作業はサポート出来かねますので、レッツ原価 管理Go!標準のバックアップ機能をお使いください。

※レッツ原価管理Go!標準のバックアップデータが無い場合およびバックアップ データ破損の場合、データ復帰が出来ない場合がありますので、あらかじめ ご了承ください。

作業終了後には異常終了した場合を除いて必ずバックアップの操作を行ってください。

 アイコンメニュー「補助」タブから「バックアップ」を選ぶと バックアップ画面が表示されます。
 ※「環境設定」→「基本設定」タブの「バックアップ 口終了時にバックアップを実行する」
 にチェックしておくと、本システム終了時に自動的に「バックアップ」画面が表示されます。

バックアップ		×
-バックアッ 会社名	<mark>・ブ元</mark> レッツ建設株式会社	
バックアッ 場所 ファイル	ップ先 E:¥バックアップ レッツ建設12期0410	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	東行	キャンセル

- バックアップ元」を確認の上、「バックアップ先」を指定します。
 ※「バックアップ先」は必ず本システムとは別のドライブを指定してください。
 同ードライブ・フォルダを指定した場合の動作は保証いたしかねます。
- 3 「実行」を選ぶと処理を開始し、終了後、本システムに戻ります。

バックアップは毎日

せっかくバックアップデータがあっても、それが数ヶ月前というのでは意味がありません。バックアップは毎日必ず取りましょう。

またバックアップがうまく取れなかったり、異常なデータをバックアップしてしまったりする可能性もあるので、念のため複数のバックアップデータを持つことをお 奨めします。

例:

USBメモリで偶数日と奇数日の二組 USBメモリとハードディスクの二組

※データに異常を感じたときは、別のメディアや別フォルダにバックアップし、前回までの正常なバックアップデータを消さないようにしてください。

3 補足

1 プログラムの再インストール

何らかの原因でレッツ原価管理Go!が起動しなくなった場合や、更新プログラムが提供 された場合に実行し、プログラムの修正を行います。 他に起動しているソフトウェアがある場合は終了させてください。

- 1 お使いのコンピュータにレッツ原価管理Go!のインストールCD-ROMをセットします。
- 2 「レッツ原価管理Go!のインストール」をクリックします。
- 3 P.5~ 「2 レッツ原価管理Go!のインストール」の手順1~8の後に、下記の画面が開きます。 「次へ」をクリックします。



4 「修正」を選択し「次へ」をクリックします。



5「インストール」をクリックします。



6 再インストール処理が実行されます。最後に「完了」ボタンをクリックします。

- ※ ・会社データに対しての修正は行われません。
 - ・プログラムの修正を行うことで会社データに対して影響はありません。
 再インストール後は、既存の会社データをそのままご使用いただけます。

2 使用コンピュータの変更

コンピュータの故障や、グレードアップなどの為、別のコンピュータでレッツ原価管理Go!を 使用する場合に実行します。

1 レッツ原価管理Go!のバックアップを取ります。 複数会社データがある場合はすべての会社データのバックアップを取ります。

【 重 要 】 バックアップが無い場合、新コンピュータにデータを引き継ぐことはできません。

- 2 新しいコンピュータにレッツ原価管理Go!をインストールします。
 (⇒ P.5~「2. レッツ原価管理Go!のインストール」参照)
- 3 新しいコンピュータでレッツ原価管理Go!を起動し、「会社新規作成」を開きます。 新規に会社を作成します。
- 4 新しく作った会社データに1. で作ったバックアップデータを復帰させます。 (複数の会社データが有る場合は3→4の作業を繰り返し、すべて復帰させます)
- 5 現在使用中のコンピュータからレッツ原価管理Go!をアンインストールします。 (⇒ P.14 「3-1. レッツ原価管理Go!のアンインストール」参照)
- 6 現在使用中のコンピュータからデータベースを削除します。 (⇒ P.16 「3-2. データベース(レッツ原価管理Go!用インスタンス)の削除」参照)
- 注意 旧コンピュータで使用していたときの設定は新コンピュータに引き継がれません。 画面設定や集計条件等が、初期設定に戻っています。 原価管理Go!のサーバーでSQL Server 2017以降のバージョンをご使用の場合、 SQL Server 2017以前のバージョンで作成した会社上にデータを復帰することが できません。(レッツ原価管理Go!の出荷バージョン1.3.0より古いものは SQL Server 2008、1.6.30より古いものはSQL Server 2008 R2、 1.17.0より古いものはSQL Server 2014を使用しています)

3 アンインストール

レッツ原価管理Go!をご使用になられなくなった場合以下の処理を行ってください。 1 レッツ原価管理Go!のアンインストール ・・・・・・・・・・P15 2 データベース (レッツ原価管理Go!用インスタンス)の削除 ・・・・P17

1 レッツ原価管理Go!のアンインストール

コンピュータからレッツ原価管理Go!プログラムを削除します。 管理者権限のあるユーザーでログインしている状態で行ってください。

【メモ】 会社データは削除されません。 会社データの削除は、レッツ原価管理Go! のプログラムの「会社データ削除」機能、もしくはP.16「データベース (レッツ原価管理Go!用インスタンス)の削除」※でおこないます。 ※データベースの削除を行った場合、インスタンスに存在する全ての会社データが 削除されます。

<CD-ROMを使用しない場合>

- 1 「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を開きます。
- 2 表示されたプログラムの一覧から「レッツ原価管理Go!」を選択し、「アンイ ンストール」を実行します。

<CD-ROMを使用する場合>

1 レッツ原価管理Go!のインストールCD-ROMをセットします。

- 2 「レッツ原価管理Go!のインストール」をクリックします。
- 3 P.5~ 「2 レッツ原価管理Go!のインストール」の手順1~8の後に、下記の画面が開き ます。「次へ」をクリックします。

🗒 レッツ原価管理Go! - Instal	IShield Wizard
2	レッツ原価管理GoI用のInstallShield ウィザードへようこそ
	InstallShield(R) ウィザードを使うと、レッツ原価管理Go! を修 正、および削除することができます。続行するには、「次へ」をクリッ りしてください。
44	
	< 戻る(I)次へ(N) > キャンセル

4 「削除」を選択し「次へ」をクリックします。



5「削除」をクリックします。

🔋 レッツ原価管理Go! - InstallShield Wizard	×
プログラムの削り除	
ご使用のシステムからプログラムを削除するオプションを選択しました。	
「削除」をクリックして、コンピュータから レッツ原価管理Go! を削除してください。削 ると、このプログラムは、使用できなくなります。	除を実行す
設定を参照したり変更する場合は、「戻る」をクリックします。	
InstallShield	
< 戻る(B, 肖)除(R)	キャンセル

6 プログラムの削除が実行されます。最後に「完了」ボタンをクリックします。

2 データベース(レッツ原価管理Go!用インスタンス)の削除

データベース上からレッツ原価管理Go!で使用しているインスタンスを削除します。 管理者権限のあるユーザーでログインしている状態で行ってください。

【重要】

- インスタンスを削除すると、レッツ原価管理Go!用にデータベースに保存されている すべてのデータが削除され、元に戻すことはできません。
 インスタンスを削除する前にバックアップを作成し、そのバックアップファイル で正常に復帰できることを確認してください。
- SQL Server 2017に他のソフトウェアのインスタンスが存在する場合があります。
 誤って他のインスタンスを削除しないようにご注意下さい。削除してしまった場合の
 データ復旧は弊社ではサポートできかねますのであらかじめご了承下さい。

〈手順〉

1 レッツ原価管理Go!を終了します。

<レッツ原価管理Go!用インスタンスの停止>

2 「スタートメニュー」→「Microsoft SQL Server 2017」→ 「SQL Server 2017 構成マネージャー」を開きます。



SQL Serverのサービス」を選択し、画面右側で「SQL Server (****)」※1 を右クリックし、表示されたメニューから「停止」をクリックします。
 ※1 ****はインストール時に指定した任意のインスタンス名(既定: LETS)

Sql Server Configuration Manager П \times _ ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H) 🗢 🔿 | 🙇 | 🔝 🗟 | 🚺 | 🕑 🔍 💌 🥏 🧐 SQL Server 構成マネージャー (ローカル) 名前 状能 開始モード ログオン プロセス ID サービスの 🔋 SQL Server のサービス SQ 目 SQL Server ネットワーク構成 (32 ドット) 🔞 SQL Server エージ... 停止 その他 TV¥NE Δ SQL Ag > 💂 SQL Native Client 11.0 の構成 (32 ビット) SQL Server Browser 実行中 自動 停止(O) TY¥LO... 2044 🧵 SQL Server ネットワークの構成 > 事 SQL Native Client 11.0 の構成 再開(E) 再起動(T) プロパティ(R) ヘルプ(H)

<レッツ原価管理Go!用インスタンスの削除>

4 「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を開きます。

表示されたプログラムの一覧から「Microsoft SQL Server 2017」を選択します。

```
「アンインストールと変更」ボタンをクリックします。
```

☑ プログラムと機能				
← → ~ ↑ 0 → ⊐>HD	ルパネル > ブログラム > ブログラムと機能			
コントロール パネル ホーム	プログラムのアンインストールまたは変更			
インストールされた更新フロクラムを 表示	プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラム	を選択して [アンインストール]、[変]	更]、または [修復] をクリックします	ř.,
 Windows の機能の有効化または 無効化 	整理 ▼ アンインストールと変更			
	名前	発行元	インストール日 サイス	(
	Microsoft OLE DB Diver for SQL Server Microsoft SQL Server 2008 定 Native Client Microsoft SQL Server 2008 定 型構プジェア入 (x64) Microsoft SQL Server 2008 仕サアンプ ガポート ファ Microsoft SQL Server 2014 Toryhy7プ (日本時) Microsoft SQL Server 2017 (なしケットプ) Microsoft SQL Server 2017 (なしケットブ)	Microsoft Corporation Microsoft Corporation Microsoft Corporation Microsoft Corporation Microsoft Corporation Microsoft Corporation Microsoft Corporation Microsoft Corporation	2021/02/02 2020/12/28 2020/12/28 2021/02/15 2021/02/15 2021/02/15 2021/02/15 2021/02/15 2021/02/15 2021/10/12	12.1 MB 20.6 MB 30.6 MB 37.2 MB 11.9 MB 12.3 MB 104 MB
	目 Microsoft SQL Server 2017 セットアップ(日本語) 目 Microsoft SQL Server System CLR Types (x64)	Microsoft Corporation Microsoft Corporation	餐 SQL Server 201 ¥卯 機能を	7 :追加しま
			(修復) 製品を	:修復しま
				削除します

5「OK」をクリックし進めます。

処理の内容は「削除」を選択します。

6 「インスタンスの選択」で削除するインスタンス名 ※1 を選択して「次へ」ボタン をクリックします。

※1 インストール時に指定した任意のインスタンス名(既定: LETS)

🏂 SQL Server 2017 の削除					-		\times
インスタンスの選択 変更する SQL Server のイン	ノスタンスを指定します。						
グローバル ルール インスタンスの選択 機能の選択 機能ルール 剤除の準備売了 剤除の進行状況 完了	 削除する SQL Serv みを削除]を選択し 機能を削除するイン LETS インストール 済みのイ インスタンス名 LETS 	er インスタンスを選択しま て (次へ) をクリックします。 スタンス: ソスタンス: インスタンス ID MSSQL14.LETS	す。Management Toolsと: 機能 SQLEngine,SQLEng	共有機能のみを削 エディション Express	除するには バ 14.	、[共有機) -ジョン 0.1000.169	ie o

7 「機能の選択」で「データベースエンジンサービス」と「SQL Serverレプリケーション」にチェックを入れ「次へ」をクリックします。

🏂 SQL Server 2017 の削除		- 🗆 X
機能の選択		
このコンピューター にインスト ンにしてください。	ールされている SQL Server 機能を以下に示します。機能を削除するには	、機能名の横にあるチェック ボックスをオ
グローバルルール インスタンスの選択 機能の選択 機能ルール 削除の進行状況 完了	機能(f):	説明(D): SQL Server インスタンスのインスタン ス機能は、爆成と操作が、他の SQL Server インスククスは分離されてい ます。SQL Server の複数のインスタン スを、同じコンビューターでサイドバイ サイドで操作できます。

8「次へ」をクリックし進めます。

9「削除」をクリックします。

🕈 SQL Server 2017 の削除		-		×
削除の準備完了				
削除する SQL Server 2017	の機能を確認します。			
クローバルルール インスタンスの選択 機能の単規 機能の単構完了 制除の申構完了 制除の準備完了 売了	SQL Server 2017 在制除するための準備表了: 日- 長寿 - アジョン Uninstall - 全 登場成 - 日 - デッペース エンジン サービス - SQL Server レフリア-ション			
	構成ファイルのバス:			
	C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥140¥Setup Bootstrap¥Log¥20211013_160123¥Con	nfigura	tionFile.i	ni
	= = 7 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)			

- 10 インスタンスの削除が実行されます。 以上でデータベースの削除は終了です。
- ※ インスタンスをすべて削除するとSQL Server 2017も一緒に削除されます。
- ※ SQL Server 2017をアンインストールした後、SQL Server 2017 T-SQL 言語サービス、 SQL Server 2017 セットアップ(日本語)のアンインストールを行ってください。
 (他のアプリケーションでSQL Serverを使用している場合、この処理は 行わないでください)

4.NET Framework 3.5のインストール

OSや環境により自動でインストールされない場合には、手動でインストールしてください。 インストール先のドライブが圧縮されているとインストールが失敗します。圧縮解除してください。

OWindows 10,11の場合

- [スタートメニュー] → [Windowsシステムツール] → [コントロールパネル]を起動します。
 ※Windows 11の場合は、[スタートメニュー] → [すべてのアプリ] → [Windowsツール] → [コントロールパネル]の順で起動します。
- ② [プログラム]を選択します。

🔛 コントロール パネル					
🗧 לאעב א 🖿 יאעב א	コール パネル		~	Ö	עב
コンピュー	ターの設定を調整します			表示	方法:
্য ক্রি ক্রি	システムとセキュリティ コンピューターの状態を確認 アパト周囲をファッブュビーを保存 パックアップと使元(Windows 7) ネットワークとインターネット ネットワークの状態とクスの意示 ハードウェアとサウンド デパイスの追想 ブログラム。 「クスレール フログシムの取得	\$ \$ \$ \$ \$	ユーザーアカウント ● アカウントの連続の変更 デスクトップのカスタマイン 時計と地域 日代、契約、戦後形式の変更 コンビューターの簡単操作 ジェの関連の長示 成更ディスフレイの最適化	C	

③ [Windowsの機能の有効化または無効化]をクリックします。



④ [. NET Framework3.5(. NET2.0および3.0を含む)]のチェックボックスにチェックを入れ「OK」をクリックします。



OWindows 8.1の場合

① スタートメニューアイコンを右クリックして、メニューから[コントロールパネル]を起動し



② [プログラム]を選択します。

الات 🖗	トロール パネル -
ⓒ 🥯 🔹 ↑ 📴 ⊦ ⊐⊁र⊏-ル /(≉ル	▼ 0 コントロール パネルの検索
コンピューターの設定を調整します	表示方法: カテコリマ
システムとセキュリティ コンピューターの状態を確認 フィル風型でアイルの(やりアップコピーを保存 問題の発見と解決	ユーザー アカウントとファミリー セーフティ マアカウントの電気の変更 マアカウントの電気の変更 マアカウントの電気の変更 マフトリーセーフティの設定
マットワークとインターネット ネットワークの状態とタスクの表示 ホームグループと共有に関するオプションの選択	
バードウェアとサウンド デバイスとカンターの表示 デバイスの通知	時計、言語、および地域
20924 	コンピューターの簡単操作 設立の提案の表示 視覚ディスブレイの最速化

③ [Windowsの機能の有効化または無効化]をクリックします。



 ④ [. NET Framework3.5(.NET2.0および3.0を含む)]のチェックボックスに チェックを入れ「OK」をクリックします。



5 トラブルシューティング

1 インストール前

1インストーラーが自動的に起動しない

レッツ原価管理Go!のインストールCD-ROMをコンピュータに挿入してもインストーラーが 自動で起動しない場合、下記の手順でインストーラーを手動で起動してください。

① 「(マイ)コンピュータ」を開きます。



② CD-ROMをセットしたドライブをダブルクリックします。



②で起動しない場合には「setup. exe」というファイルがありますのでダブルクリックします。



2 その他

サーバー名とログインユーザー名が一緒の場合、SQL Serverをインストールすることができません。 サーバー名かユーザー名を変更してからインストールを行ってください。 2 SQL Server 2017のセットアップ

1 SQL Server 2017のインストール時に、 セットアップサポートルール画面で 「コンピュータの再起動(RebootRequiredCheck)」が失敗と出た

1	SQL Server 2014 セットアップ	+	- 0	×
グローバル ルール セットアップのグローバル ルールでは、SQL Server セットアップ サポート ファイルのインストール時に発生する可能性がある問題を特定しま す。セットアップを続行する前に、エラーを修正しておく必要があります。				
グローバル ルール 製品の更新プログラム セットアップ ファイルのインストール インストール ルール インストールの種類 ミイヤンフを頂	操作が完了しました。成功 8、失敗 1、誓告 0、スキップ 0。 詳細の非表示(S) << 詳細 <u>レポートの表示(V)</u>		再ij	実行(R)
51 E2ス来頃 機能の選択 機能ルール 機能構成ルール	ルール 状態 シリトアップ管理者 合格 アカウントの確認の設定 会格			
インストールの進行状況 完了	③ コンピューターの再起動 生敗 ● WM1 (Windows Management Instrumentation) サービス 合信 ④ SQL Server レジストリ キーの整合性の検証 合信 ● SQL Server インストール メディア上のファイルへの長いパス名 合信	J		=
	② 互換性がない SQL Server セットアップ製品 合格 ※ Windows 2008 P2 おけび Windows 7 田の NET 20 おけび 会総			

※SQL Server 2014の画面ですが、SQL Server 2017でも同様です

・PCを再起動後、再度インストールを実行して下さい。 それでも現象が解消しない場合、お手数ですが弊社までご連絡下さい。

2 SQL Serverのインストール完了メッセージが表示されたが、 インストール時に指定したインスタンスが見つからない

P.25 補足 「レッツ原価管理Go!の起動時に、「サーバーへ接続できません」とメッセージが 表示された」の確認手順で、インストール時に指定したSQL Serverのインスタンスが見つから ない場合は、SQL Server のインスタンス作成に失敗している可能性があります。 以下に該当していないか確認します。

- ・[Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable]がインストールされていないか
 - 1. [スタートメニュー]→[Windowsシステムツール]→[コントロールパネル]を起動します。
 - 2. [プログラムのアンインストール]をクリックします。
 - [Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable]がインストールされている場合、 右クリックして、[アンインストール]を選択します。
 ※(x64)と(x86)が両方ある場合、両方アンインストールします。

	·····	
Microsoft SQL Server System CLR Types (x64)	Microsoft Corporation	2020/12/28
III Microsoft Visual C++ 2010 x64 Redistributable	Microsoft Corporation	2021/02/15
III Microsoft Visual C++ 2010 x86 Redistributable	Microsoft Corporation	2021/02/15
Hicrosoft Visual C++ 2012 Redistributable (x64)	Microsoft Corporation	2021/02/19
Hicrosoft Visual C++ 2012 Redistributable (x86)	Microsoft Corporation	2021/02/19
Hicrosoft Visual C++ 2017 Redistributable (x64)	Microsoft Corporation	2021/10/08
😸 Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable (×86)	アンインストール(U)	2021/10/08
E ME ENVERNMENT & COLIC 2010		001/10/00
Microsoft Corporation 製品パージョン:	変更(C)	
मन्द्र मनद्र	23.2 MB	

4. [アンインストール]をクリックして、アンインストールを実行します。

📸 Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable (x64) - 14.14.26 – 🗌 🗙			
Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable (x64) - 14.14.26429			
セットアップの変更			
修復(R) アンインストール(U) 閉じる(C)			

- 5. 再度レッツ原価管理Go!のインストーラーを起動して[インストール]を実行します。 ⇒ P.5 レッツ原価管理Go!のインストール
- 6. インストール完了後、再度[Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable] をインストールします。

※インストール用パッケージはマイクロソフト社の公式サイトよりダウンロード可能です。

3 SQL Serverのインストール失敗または中断し、再度インストール する際の注意点

- tempフォルダ内のletsgo_temp_instancename.ini(インストール途中に しか残らないファイル)を削除してから再度SQL Serverのインストールを 行ってください。
- tempフォルダの開き方
 - 1. デスクトップ画面でWindowsキー+Rキーを押します。
 - 2. [ファイル名を指定して実行]の画面が表示されます。

💷 ファイ	ル名を指定して実行	×
	実行するプログラム名、または開くフォルダーやドキュメント名、インタ- ネット リソース名を入力してください。	-
名前(<u>O</u>):	:	~
	OK キャンセル 参照(<u>B</u>)	

3. [%temp%]と入力し、[0K]ボタンを押します。

💷 ファイリ	L名を指定して実行 X
۲	実行するプログラム名、または開くフォルダーやドキュメント名、インター ネットリソース名を入力してください。
名前(<u>O</u>):	%temp% ~
	OK キャンセル 参照(<u>B</u>)

3レッツ原価管理Go!の起動とサーバー選択

1 レッツ原価管理Go!起動時に、「サーバーへ接続できません」と メッセージが表示された

・SQL Server 2017の起動状態の確認をします。

- 「スタートメニュー」→「Microsoft SQL Server 2017」→
 「SQL Server 2017 構成マネージャー」を開きます。
- ②「SQL Server ネットワークの構成」下「***のプロトコル」※1 を選択し、 「共有メモリ」「名前付きパイプ」「TCP/IP」の状態のいずれかが「無効」の場合、 右クリックメニュー の「有効化」を選択し状態を[有効]にしてください。



プロトコル名	状態	
☆ 共有メモリ	有効	
🍞 名前付きパイプ	有効	
°g= TCP/IP	有効	
🍞 VIA	無効	

③「SQL Serverのサービス」を選択し、「SQL Server (****)」※1の「状態」が 「実行中」であることを確認します。

「停止」になっている場合は右クリックメニューで「開始」して下さい。

名前	状態	開始モード	ログオン
SQL Server (LETS)	実行中	自動	NT AUTHORIT
SQL Server (SQLEXPRESS)	美行中	自動	NT AUTHORIT
SQL Server Agent (LETS)	停止	その他(ブート、システ	NT AUTHORIT
👼 SQL Server Browser	実行中	自動	NT AUTHORIT

- ④「SQL Server Browser」の「状態」が「実行中」であることを確認します。
 「停止」になっている場合は「開始」にして下さい。
 開始できない場合、「管理ツール」の「サービス」から開始させてください。
- ※1にはサーバーのセットアップ時に決めたインスタンス名が表示されます。 初期値は「LETS」が入力されています。

インストール時に指定したインスタンスが見つからない場合は、インスタンスの作成に 失敗している可能性があります。以下をご確認ください。 ⇒P.23 補足 SQL Serverのインストール完了メッセージが表示されたが インストール時に指定したインスタンスが見つからない Memo

Memo

レッツ原価管理Go!

インストールマニュアル (スタンドアロン)

- 初版 2009年10月30日
- 第8版 2021年10月12日
- 発行者 株式会社レッツ

〒989-6106 宮城県大崎市古川幸町1丁目6-12

・本書の内容に関しては、訂正・改善のため、予告なしに変更することがございます。

